

- 1 ソシオ横浜役員立候補届
- 2 理事への立候補
- 3 畠野之裕（ハタノ ユキヒロ）
- 4 1963年11月16日生まれ・40歳
- 5 神奈川県鎌倉市

●横浜ソシオ、第4期および第5期は、これまでのソシオと横浜FC立ち上げからの混乱を整理し、収集することにほとんどのエネルギーを費やしてきたと思います。

これからの6期においては、ソシオが団体として「何をしたいのか？ 何をしたら楽しいのか？ またそれが実現・実行可能なのか？」ということを考え・動いていかなければならないと思います。

●僕はソシオの基本コンセプト「市民（スポーツに特定の利害関係を持たない人）が集まって、パワー（金銭的・人的）を集約してプロスポーツチームを支え、それをコアとしてさまざまなスポーツの楽しみを広げる／みんなで楽しむ」という考え（※）は非常に優れていると思いますし、現在でも有効だと思います。ただ、発足時とは状況が恐ろしく変わってきています。会員数は大変減少しました。この人数で何ができるのか？ 「プロチームを支える」などというのは、大きな声ではなかなか言いにくい状況です。

●以上のことは、昨年・一昨年も総会・公開理事会等で話し合われてきたことです。しかし会社との係争・名称・規約の改定（まだ完了していませんが）などをクリアした今、「これからソシオをどうする？」ということが、緊急かつ長期的な課題となってきました。

●僕は、先ほども述べたようにソシオの基本コンセプトは現在でも有効だと思っています。ですので、そのコンセプトにのっとったカタチで、少人数でも活動は可能だし、十分に「楽しむことができる」と考えます。そのラインは2つで、〈横浜FCの支援〉と〈サッカー関連の「知的な」活動〉です。具体的にいうと、横浜FC応援情報+横浜・神奈川のサッカー情報を集めたフリーペーパーないしHPの立ち上げ、といったものを漠然とですが考えています。現在継続中の「横浜サッカー史プロジェクト」もこれに連携することができます。僕が理事に選ばれた際には、以上のプロジェクトの企画・提案を行ないたいと思います。

●また、横浜FCのクラブメンバーに団体メンバーとして加入すべきかどうか、という問題ですが、これに僕は基本的に賛成したいと思います。ソシオが、独立した団体として活動している、そして横浜FCを支援する人々のなかにいる、ということを確認できる、というのが賛成の根拠です。

以上です。みなさんどうぞよろしくお願いします。また、これからみんなで積極的にサッカー・スポーツを楽しむ活動をしていきましょう！

（※このコンセプトはソシオ憲章などからの畠野の意識です）